令和４年度　桶売小学校・桶売中学校　小中連携の取組

ふるさとを愛する「たくましく　しなやかな桶売の子」の育成

義務教育９年間をとおして児童生徒の「生きる力」を育てます

連携の目的

(1) 児童生徒数の減少により人間関係が固定化しやすい中、連携をとおして小・中の教職員や児童生徒との関わる機会を増やす。
(2) 中学校卒業時の生徒像を共有し、９年間を見通したその学年で身につけるべきことを明確にした、一貫性のある指導を実現する。

めざす効果

(1) 一人ひとりの実態に応じて「生き抜く力」をスモールステップで育む。
(2) 小学生の中学校進学に対する不安感を軽減する。
(3) 小・中の教職員・児童生徒と関わる機会を増やし、人間関係づくりのスキル育成や価値観、道徳性を育む。

教職員の視点

○　義務教育終了時点での生徒像の具体化
・　一貫性を持った指導への共通理解
・　一人ひとりの特性を把握した児童・生徒理解
○　一人ひとりのよさの価値づけ、可能性の伸長

家庭・地域との連携

①　目指す児童・生徒像の共有化とPDCAサイクルによる評価
②　教育的効果と目標の共有化
③　地域資源や人材の活用、コミュニケーション力の育成、郷土愛の醸成、勤労観・職業観等のキャリア教育への協力

学習指導面

９年間の学習の「学びのつながり」を明確にし、個のに応じたきめ細かな指導を行う。

視点１「共通認識による学習指導」
(1) 日常的な参観による児童・生徒理解
(2) 学校種特有の指導法の相互理解

視点２「一人ひとりに寄り添う学習指導」
(1) 各学力調査での学力・学習状況等の把握
(2) 一人ひとりの達成度に応じた個別指導

生徒指導面　社会性の育成

中学校卒業段階での生徒像を明確化し、多面的な視点で一人ひとりの児童生徒を把握し、家庭・地域と連携しながら支援することで、個々の資質・能力を育む

視点３「小中合同行事と協働の精神」
(1) 中学生
協働・協力の精神で課題解決することを通して、自尊感情や責任感、思いやりの心を高める。
(2) 小学生
上級生への憧れや尊敬、めざすモデルとして明確な目標をもち、率先して取り組む心を高める。

視点４「郷土愛、キャリア教育の推進」
(1) 公民館等関係機関との連携事業
(2) 地域人材の活用

［小・中学校合同行事］
○　会　議
・合同職員会　・管理職連絡会
○　授業参観等
・PTA総会(委員会)　・PTA奉仕活動
○　防犯教室　○　避難訓練(地震・火災)
○　防災教室、AED教室
○　救急救命法、ヘビ・ハチ対処法研修
○　スマホ教室　○　中体連激励会
○　スポーツフェスティバル（運動会）
○　明夢祭（文化祭）
○　しめ縄づくり教室
○　卒業式参加